グリーン四国

四国森林管理局
高知市丸ノ内１丁目３－30
TEL 088－821－2052
FAX 088－821－4834
ホームページアドレスhttp://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/
電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp

四国山の日

No.1127 2014年２月号

四国森林・林業研究発表会を開催

61回目を迎えた今年の研究発表会は、局署等のほか、教育機関、各研究機関等から21課題（特別発表を含む）が発表されました。

四国森林・林業研究発表会

四万十高校の発表

高知工業高校の発表

四国森林・林業研究発表会を開催
〈技術普及課〉

　一月二三日、四国森林管理局大会議室において、「平成二五年度四国森林・林業研究発表会」を開催しました。

　まず、浅川局長から、「発表される課題は、森林整備、木材利用を始め、治山、林産物、獣害対策、自然環境保護、そして森林環境教育など多くの今日的課題についての研究成果であり大変有意義な内容であります。発表される方々が取り組んでいる課題が、これからの森林づくりなどに反映されることを期待します」と挨拶がありました。

　六一回目を迎えた今年の研究発表会では、局署等のほか、教育機関、各研究機関等から二一課題（特別発表を含む）が発表されました。なかでも、ニホンジカ等による食害対策に関する発表が五課題あり、局署等が早急に取り組むべき課題であることを再認識させられました。また、高知県立高知工業高校、高知県立四万十高校から、学習活動の一環として取り組んでいる内容について発表があり、会場から多くの拍手が送られました。

　特に、今回の発表会の特徴として、局署等の職員から自署等の取組みの現状と併せての質問が多く、聴講者にも好印象を与えていました。

　審査の結果、四国森林管理局長賞として五課題（最優秀賞一課題、優秀賞三課題、奨励賞一課題）が選出され、各受賞者に表彰状と記念品が授与されました。また、日本森林技術協会理事長賞、日本森林林業振興会会長賞としてそれぞれ一課題選出され、表彰状が授与されました。

　最優秀賞に輝いた三原村森林組合の発表は、シカ等の捕獲に用いる「くくりわな」について、設置の際の安全性などにも工夫を凝らした取組が高く評価されました。

　なお、今回の発表課題と審査結果は最終頁のとおりです。

四国森林管理局長賞【最優秀賞】

高知県三原村森林組合
大塚真紀氏、小笠原洋氏

四国森林管理局長賞【優秀賞】

徳島県南部総合県民局
保健福祉環境部（阿南）
環境担当課長補佐　森　一生氏

【優秀賞】

㈱土佐れいほく　石垣久志氏
嶺北森林管理署　森下寿広氏

【優秀賞】

高知県立高知工業高等学校建築科３年生の皆様へ

【奨励賞】

高知県立四万十高等学校
本山和樹さん、沖 佳純さん

（一財）日本森林林業振興会会長賞

愛媛森林管理署　福田　薫氏

（一社）日本森林技術協会理事長賞

住友林業フォレストサービス㈱
難波海南子氏

日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞！

国有林野事業業務研究発表会

〈技術普及課〉

一二月四日、林野庁において、平成二五年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。

今回の発表会には、四国森林管理局から三部門に各一課題ずつ三課題を発表しました。

○森林技術部門

「剣山地域における自然景観に配慮した治山工事について」を徳島森林管理署　中村治山技術官、丸田総括治山技術官が発表しました。

○森林ふれあい部門

「森林セラピーとその可能性」を梼原町立国保梼原病院　伴医師、松原まろうど会　下元会長、四万十森林管理署　森下森林整備官が発表し、日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞しました。

○森林保全部門

「四国地域の国有林内およびその周辺地域における翼種目生息確認調査」を四国自然史科学研究センター　谷地森センター長、局技術普及課西本課長補佐が発表しました。

なお、今回の研究発表会の内容等については、林野庁において発表集が作成された後、署等へ配布する予定です。

森林・林業に対する多様なニーズに応えていくため、各署等において技術開発等の取組が一層推進されるよう期待しています。

日本林政ジャーナリスト会会長賞

受賞者　左から伴医師、下元会長、四万十署森下森林整備官

技術開発課題に貴重な意見
「平成二五年度第二回技術開発委員会」を開催

〈森林技術・支援センター〉

一二月一七日、今年度第二回目の技術開発委員会を開催しました。

この委員会は、四国森林管理局技術開発委員会運営要綱に基づき、技術開発の計画・評価・方法等について意見を聴くもので、森林生態学、林木育種、遺伝資源、森林管理経営等の専門家の委員で構成されています。

平成二五年度
第二回技術開発委員会

今回は、平成二五年度に実施した課題の内、中間報告一課題（保育作業の省力化による森林育成技術の確立）、完了報告三課題（①天然林におけるスギ天然更新技術の確立、②ヒノキ天然更新地の更新技術の確立、③囲いわなによる効率的なシカ捕獲試験）と平成二六年度新規課題一課題（エリートツリー植栽による下刈省力化試験及びシカ食害防止クリップ効果の検証）の計五課題について審議を願い意見を伺いました。

委員からは、中間報告課題、保育作業の省力化による森林育成技術の確立では、「下刈、除伐の省力化には大いに期待しており、併せて、ニホンジカ対策を考慮した試験の検討を行ってはどうか」

完了報告課題①天然林におけるスギ天然更新技術の確立では、「稚樹がなぜ消滅したのか、原因の特定・分析を行ってはどうか」

②ヒノキ天然更新地の更新技術の確立では、「天然更新を成功させるには、多くの時間と労力が必要であることから、新たな試験の検討を行ってはどうか」

③囲いわなによる効率的なシカ捕獲試験では、「センター開発わなの更なる普及とシカ分布状況の更なるデータ収集に期待している」

新規課題、エリートツリー植栽による下刈省力化試験及びシカ食害防止クリップ効果の検証では、「クリップ装着による植栽木に与える影響などを含め、試験結果に期待している」等各課題に対し多くの意見が出されました。

今回頂きましたこれらの貴重な意見等を踏まえて、今後の試験設定のあり方など技術開発に活かして行くこととしています。

全国初の女性森林管理局長

〈総務課〉

一月一四日付けで、浅川京子四国森林管理局長が着任しました。

一月二七日の着任記者会見では、NHK高知放送局をはじめ、高知新聞社など八社の取材を受けマスコミ各社の関心の高さがうかがえました。

浅川局長から、「四国森林管理局管内は、他の森林管理局と比べても、全国一の森林率を誇っています。また、森林・林業と地域との繋がりが非常に大きい地域と感じております。そう